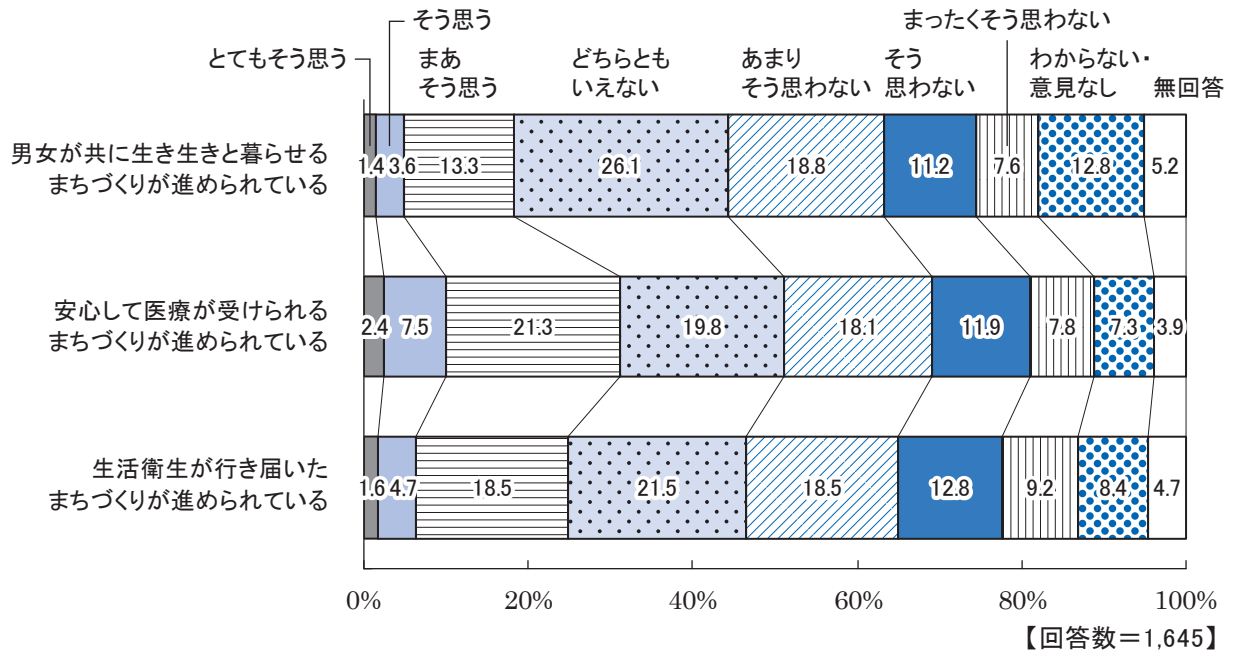


6. 本市における定住意向について

問22 あなたは、これまでの市の取り組みについて、どの程度満足されていますか？それぞれの項目についてお答えください。（それぞれについて○は1つだけ）

図 6-1 市の取り組みの満足度



これまでの市の取り組みについての満足度をたずねた。

“男女が共に生き生きと暮らせるまちづくりが進められている”は、「どちらともいえない」が26.1%、「あまりそう思わない」が18.8%、「まあそう思う」が13.3%、「わからない・意見なし」が12.8%、「そう思わない」が11.2%となっている。

『満足度』（「とてもそう思う」＋「そう思う」＋「まあそう思う」）は、18.3%となっている。

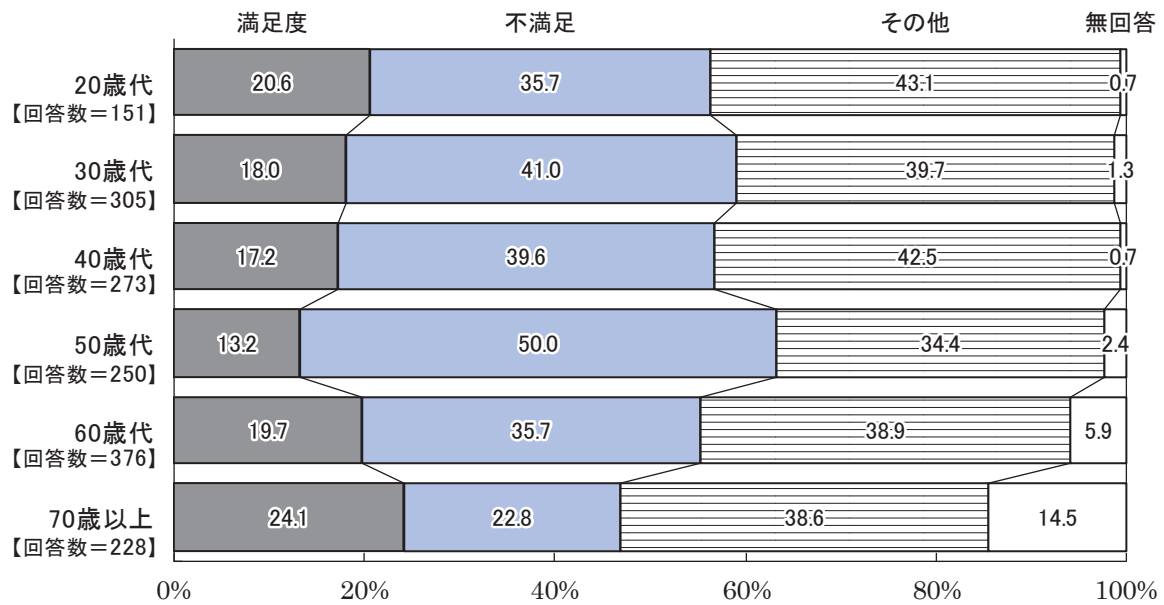
“安心して医療が受けられるまちづくりが進められている”は、「まあそう思う」が21.3%、「どちらともいえない」が19.8%、「あまりそう思わない」が18.1%、「そう思わない」が11.9%、「まったくそう思わない」が7.8%となっている。

『満足度』は31.2%となっている。

“生活衛生が行き届いたまちづくりが進められている”は、「どちらともいえない」が21.5%、「まあそう思う」と「あまりそう思わない」がともに18.5%、「そう思わない」が12.8%、「まったくそう思わない」が9.2%となっている。

『満足度』は24.8%となっている。（図 6-1）

図 6-2 年代別 「1.男女が共に生き生きと暮らせるまちづくり」の満足度



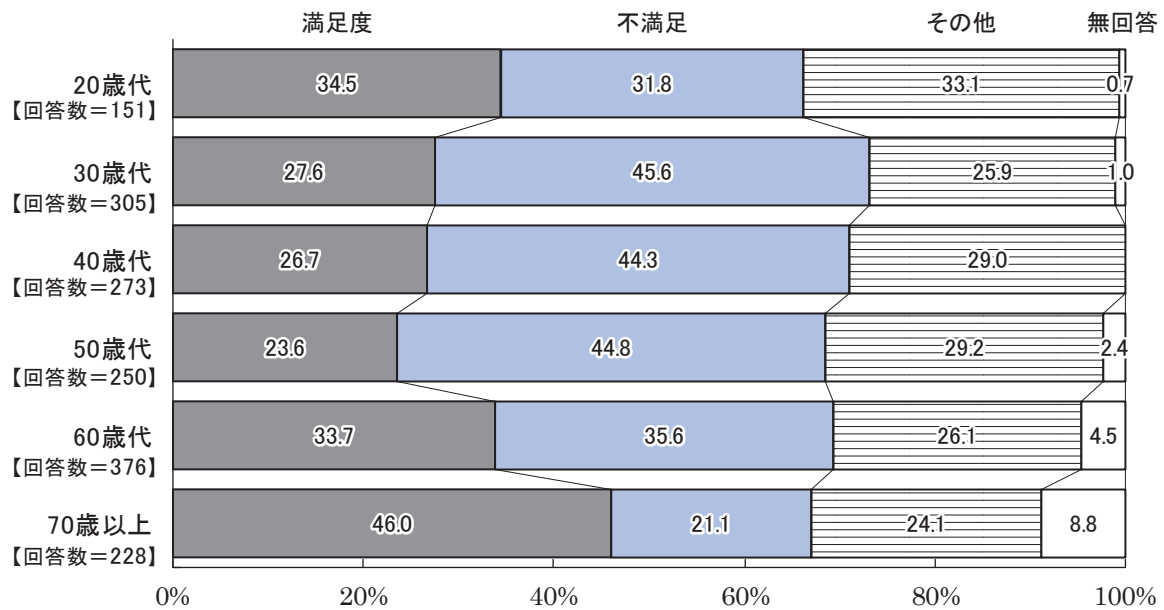
『満足度』＝「とてもそう思う」＋「そう思う」＋「まあそう思う」

『不満足』＝「あまりそう思わない」＋「そう思わない」＋「まったくそう思わない」

『その他』＝「どちらともいえない」＋「わからない・意見なし」

年代別に“男女が共に生き生きと暮らせるまちづくりが進められている”の『満足度』をみると、70歳以上が24.1%と最も高く、次いで20歳代が20.6%、60歳代が19.7%となっている。（図6-2）

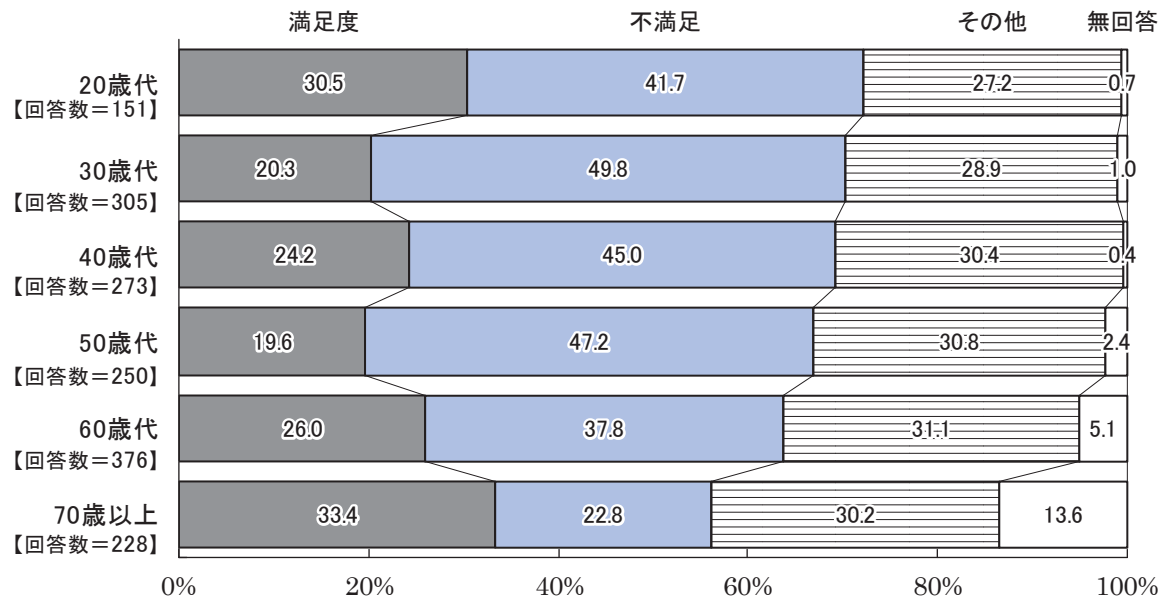
図 6-3 年代別 「2.安心して医療が受けられるまちづくり」の満足度



『満足度』＝「とてもそう思う」＋「そう思う」＋「まあそう思う」
 『不満足』＝「あまりそう思わない」＋「そう思わない」＋「まったくそう思わない」
 『その他』＝「どちらともいえない」＋「わからない・意見なし」

年代別に“安心して医療が受けられるまちづくりが進められている”の『満足度』は、70歳以上が46.0%と最も高く、次いで20歳代が34.5%、60歳代が33.7%となっている。（図6-3）

図 6-4 年代別 「3.生活衛生が行き届いたまちづくり」の満足度

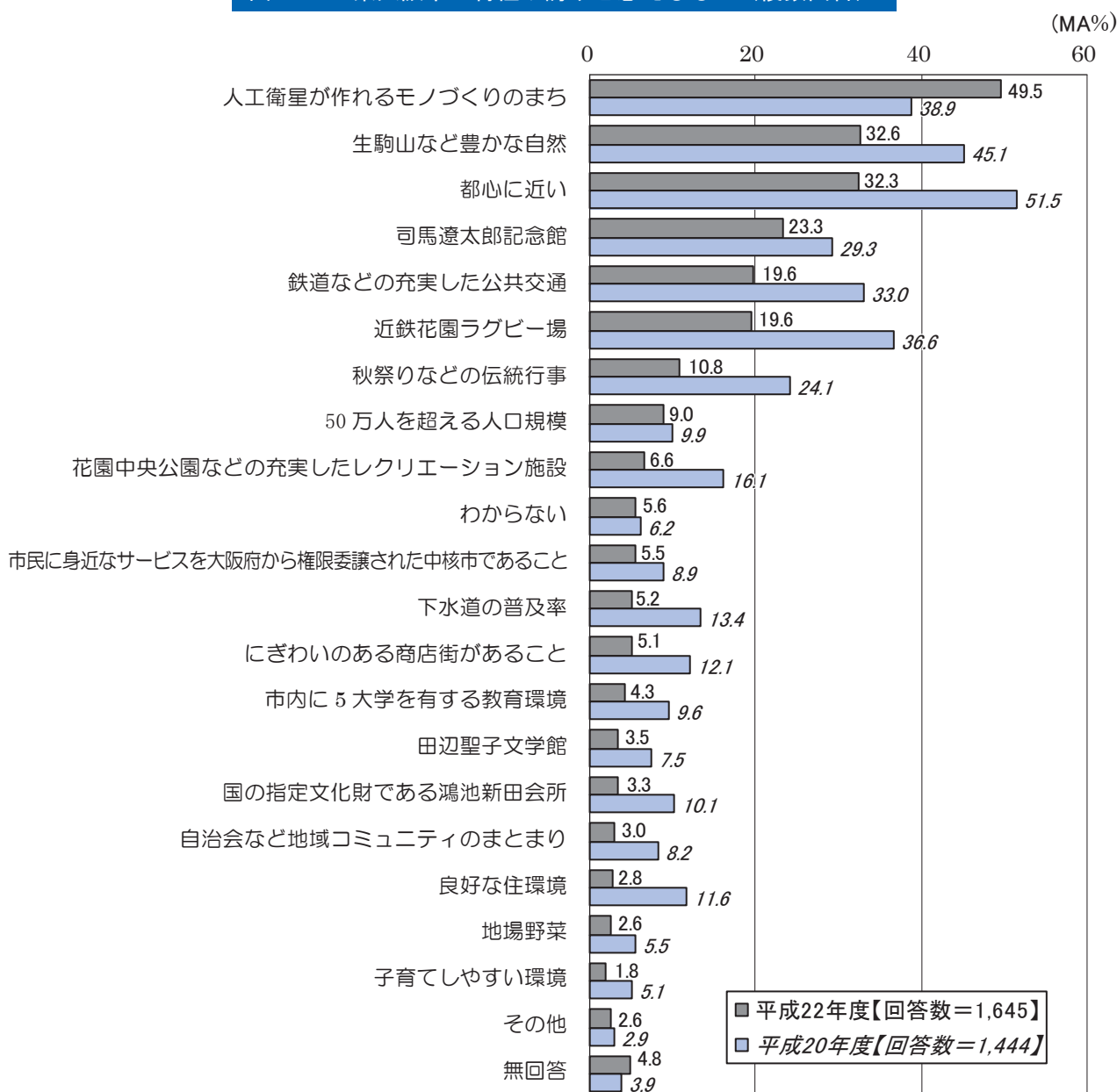


『満足度』＝「とてもそう思う」＋「そう思う」＋「まあそう思う」
 『不満足』＝「あまりそう思わない」＋「そう思わない」＋「まったくそう思わない」
 『その他』＝「どちらともいえない」＋「わからない・意見なし」

年代別に“生活衛生が行き届いたまちづくりが進められている”の『満足度』は、70歳以上が33.4%と最も高く、次いで20歳代が30.5%、60歳代が26.0%となっている。（図6-4）

問23 あなたが、東大阪市の特性や誇りと思われるものは、どのようなものですか？（〇は3つまで）

図 6-5 東大阪市の特性や誇りと思えるもの（複数回答）



東大阪市の特性や誇りと思えるもの（複数回答）をたずねた。「人工衛星が作れるモノづくりのまち」が49.5%と最も高く、以下「生駒山など豊かな自然」（32.6%）、「都心に近い」（32.3%）、「司馬遼太郎記念館」（23.3%）などの順となっている。

平成20年度と比較すると、回答の選択数（20年度はすべて、今年度は3つ以内）が異なるものの、第1位の「人工衛星が作れるモノづくりのまち」は、20年度の第3位から10.6ポイント増加している。また、第3位の「都心に近い」は19.2ポイント、第2位の「生駒山など豊かな自然」は12.5ポイントそれぞれ減少している。

また、第6位の「近鉄花園ラグビー場」が17.0ポイント、第5位の「鉄道などの充実し

た公共交通」が 13.4 ポイント、第 7 位の「秋祭りなどの伝統行事」が 13.3 ポイント減っている。(図 6-5)

図 6-6 年代別 東大阪市の特性や誇りと思えるもの《上位 5 項目》(複数回答)

		問 23 東大阪市の特性や誇りと思えるもの (MA%)				
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
年代別	20 歳代 【回答数=151】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 51.7	都心に近い 35.8	鉄道などの充実した公共交通 30.5	生駒山など豊かな自然 27.8	司馬遼太郎記念館 21.9
	30 歳代 【回答数=305】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 51.8	都心に近い 31.8	生駒山など豊かな自然 22.3	近鉄花園ラグビー場／司馬遼太郎記念館	21.3
	40 歳代 【回答数=273】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 50.2	都心に近い 33.3	生駒山など豊かな自然 32.2	近鉄花園ラグビー場 24.2	鉄道などの充実した公共交通 20.5
	50 歳代 【回答数=250】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 60.0	都心に近い 34.4	生駒山など豊かな自然 30.8	司馬遼太郎記念館 30.0	近鉄花園ラグビー場 23.2
	60 歳代 【回答数=376】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 46.8	生駒山など豊かな自然 41.8	都心に近い 33.5	司馬遼太郎記念館 24.2	鉄道などの充実した公共交通 18.6
	70 歳以上 【回答数=228】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 42.1	生駒山など豊かな自然 39.0	都心に近い 29.8	司馬遼太郎記念館 22.4	鉄道などの充実した公共交通 17.1

年代別に上位 5 項目をみると、いずれも「人工衛星が作れるモノづくりのまち」が第 1 位となっており、なかでも 50 歳代が 60.0%と他の年代に比べ高くなっている。次ぐ第 2 位では、20 歳代から 50 歳代が「都心に近い」、60 歳以上が「生駒山など豊かな自然」となっている。

また、「鉄道などの充実した公共交通」は 20 歳代が第 3 位、40 歳代と 60 歳代、70 歳以上が第 5 位となっている。「司馬遼太郎記念館」は、50 歳代以上が第 4 位であり、30 歳代は「近鉄花園ラグビー場」とともに第 4 位、20 歳代は第 5 位となっている。(図 6-6)

図 6-7 地域別 東大阪市の特性や誇りと思えるもの《上位 5 項目》（複数回答）

		問 23 東大阪市の特性や誇りと思えるもの				(MA%)
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
地 域 別	A 地域 【回答数=196】	生駒山など豊かな自然 57.7	人工衛星が作れるモノづくりのまち 51.0	都心に近い 25.5	秋祭りなどの伝統行事 18.4	鉄道などの充実した公共交通 17.9
	B 地域 【回答数=230】	生駒山など豊かな自然 51.3	人工衛星が作れるモノづくりのまち 47.0	秋祭りなどの伝統行事／近鉄花園ラグビー場 23.5		都心に近い 20.9
	C 地域 【回答数=193】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 56.0	都心に近い 28.0	生駒山など豊かな自然 25.9	鉄道などの充実した公共交通 18.7	近鉄花園ラグビー場／鴻池新田会所 15.0
	D 地域 【回答数=313】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 43.5	生駒山など豊かな自然／都心に近い 31.6		近鉄花園ラグビー場 27.5	司馬遼太郎記念館 24.3
	E 地域 【回答数=124】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 58.9	都心に近い 44.4	生駒山など豊かな自然 27.4	近鉄花園ラグビー場 21.8	司馬遼太郎記念館 20.2
	F 地域 【回答数=311】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 47.3	都心に近い 41.8	鉄道などの充実した公共交通 31.8	司馬遼太郎記念館 28.3	生駒山など豊かな自然 22.2
	G 地域 【回答数=278】	人工衛星が作れるモノづくりのまち 51.4	都心に近い 34.5	司馬遼太郎記念館 33.1	生駒山など豊かな自然 19.4	鉄道などの充実した公共交通 16.5

地域別に上位 5 項目をみると、A・B 地域では「生駒山などの豊かな自然」が第 1 位、その他の地域は「人工衛星が作れるモノづくりのまち」が第 1 位となっている。次ぐ第 2 位では、A・B 地域では「人工衛星が作れるモノづくりのまち」、C・E・F・G 地域では「都心に近い」、D 地域では同率で「生駒山などの豊かな自然」、「都心が近い」となっている。（図 6-7）

図 6-8 年代別 東大阪市の特性や誇りと思えるもの《上位 5 項目 前回からの変化》

	項目	今年度		20年度
20 歳代 22 年度【回答数=151】 20 年度【回答数=147】	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 3 位
	都心に近い	第 2 位	↙	第 1 位
	鉄道などの充実した公共交通	第 3 位	↖	第 5 位
	生駒山など豊かな自然	第 4 位	←	第 4 位
	司馬遼太郎記念館	第 5 位	↖	第 6 位
30 歳代 22 年度【回答数=305】 20 年度【回答数=265】	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 2 位
	都心に近い	第 2 位	↙	第 1 位
	生駒山など豊かな自然	第 3 位	↖	第 4 位
	近鉄花園ラグビー場	第 4 位	↙	第 3 位
	司馬遼太郎記念館	第 4 位	↖	第 6 位
40 歳代 22 年度【回答数=273】 20 年度【回答数=250】	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 4 位
	都心に近い	第 2 位	↙	第 1 位
	生駒山など豊かな自然	第 3 位	←	第 3 位
	近鉄花園ラグビー場	第 4 位	↙	第 2 位
	鉄道などの充実した公共交通	第 5 位	←	第 5 位
50 歳代 22 年度【回答数=250】 20 年度【回答数=263】	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 3 位
	都心に近い	第 2 位	↙	第 1 位
	生駒山など豊かな自然	第 3 位	↙	第 2 位
	司馬遼太郎記念館	第 4 位	↖	第 6 位
	近鉄花園ラグビー場	第 5 位	↙	第 4 位
60 歳代 22 年度【回答数=376】 20 年度【回答数=333】	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 3 位
	生駒山など豊かな自然	第 2 位	←	第 2 位
	都心に近い	第 3 位	↙	第 1 位
	司馬遼太郎記念館	第 4 位	↖	第 5 位
	鉄道などの充実した公共交通	第 5 位	↙	第 4 位
70 歳以上 22 年度【回答数=228】 20 年度【回答数=166】	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 3 位
	生駒山など豊かな自然	第 2 位	←	第 2 位
	都心に近い	第 3 位	↙	第 1 位
	司馬遼太郎記念館	第 4 位	↖	第 5 位
	鉄道などの充実した公共交通	第 5 位	↙	第 4 位

年代別に今年度の上位 5 項目について、平成 20 年度調査からの変化をみると、「人工衛星が作れるモノづくりのまち」の順位が大きく上がっており、「司馬遼太郎記念館」も順位を上げている。また、「生駒山など豊かな自然」は、ほぼ同じ順位となっており、「都心に近い」は順位が下がっている。「鉄道などの充実した公共交通」は 20 歳代で順位を上げており、60 歳代以上は順位が下がっている。(図 6-8)

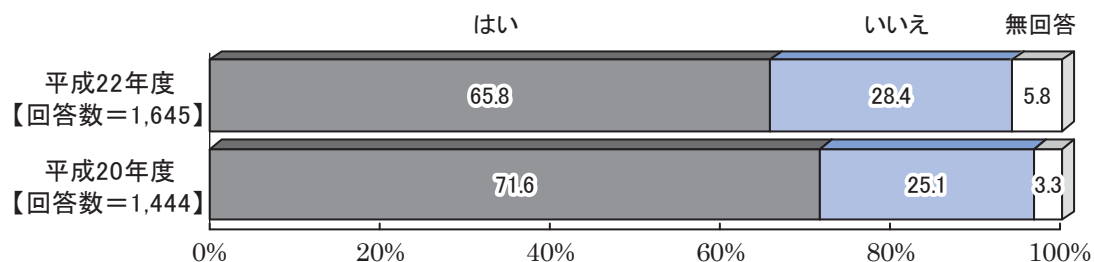
図 6-9 地域別 東大阪市の特性や誇りと思えるもの《上位 5 項目 前回からの変化》

	項目	今年度		20年度
A 地域 22 年度【回答数=196】 20 年度【回答数=158】	生駒山など豊かな自然	第 1 位	←	第 1 位
	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 2 位	↖	第 4 位
	都心に近い	第 3 位	↙	第 2 位
	秋祭りなどの伝統行事	第 4 位	↖	第 5 位
	鉄道などの充実した公共交通	第 5 位	↖	第 6 位
B 地域 22 年度【回答数=230】 20 年度【回答数=209】	生駒山など豊かな自然	第 1 位	←	第 1 位
	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 2 位	↖	第 5 位
	秋祭りなどの伝統行事	第 3 位	↙	第 2 位
	近鉄花園ラグビー場	第 4 位	↙	第 2 位
	都心に近い	第 5 位	↖	第 4 位
C 地域 22 年度【回答数=193】 20 年度【回答数=173】	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 2 位
	都心に近い	第 2 位	↙	第 1 位
	生駒山など豊かな自然	第 3 位	←	第 3 位
	鉄道などの充実した公共交通	第 4 位	↖	第 5 位
	近鉄花園ラグビー場	第 5 位	↙	第 4 位
D 地域 22 年度【回答数=313】 20 年度【回答数=271】	国の指定文化財である鴻池新田会所		↖	第 7 位
	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 4 位
	生駒山など豊かな自然	第 2 位	←	第 2 位
	都心に近い	第 3 位	↖	第 3 位
	近鉄花園ラグビー場	第 4 位	↙	第 1 位
E 地域 22 年度【回答数=124】 20 年度【回答数= 95】	司馬遼太郎記念館	第 5 位	←	第 5 位
	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 3 位
	都心に近い	第 2 位	↙	第 1 位
	生駒山など豊かな自然	第 3 位	↖	第 6 位
	近鉄花園ラグビー場	第 4 位	↖	第 7 位
F 地域 22 年度【回答数=311】 20 年度【回答数=287】	司馬遼太郎記念館	第 5 位	↖	第 4 位
	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 3 位
	都心に近い	第 2 位	↙	第 1 位
	鉄道などの充実した公共交通	第 3 位	↙	第 2 位
	生駒山など豊かな自然	第 4 位	↖	第 5 位
G 地域 22 年度【回答数=278】 20 年度【回答数=251】	生駒山など豊かな自然	第 5 位	↙	第 4 位
	人工衛星が作れるモノづくりのまち	第 1 位	↖	第 2 位
	都心に近い	第 2 位	↙	第 1 位
	司馬遼太郎記念館	第 3 位	↖	第 4 位
	鉄道などの充実した公共交通	第 4 位	←	第 3 位
		第 5 位	←	第 5 位

地域別にみると、いずれも「人工衛星が作れるモノづくりのまち」が順位を上げており、「生駒山など豊かな自然」は A・B・C・D 地域は順位が変わらず、E 地域では順位を上げ、F・G 地域では順位を下げている。(図 6-9)

問24 あなたは、引き続き東大阪市に住み続けたいと思いますか？（○は1つだけ）

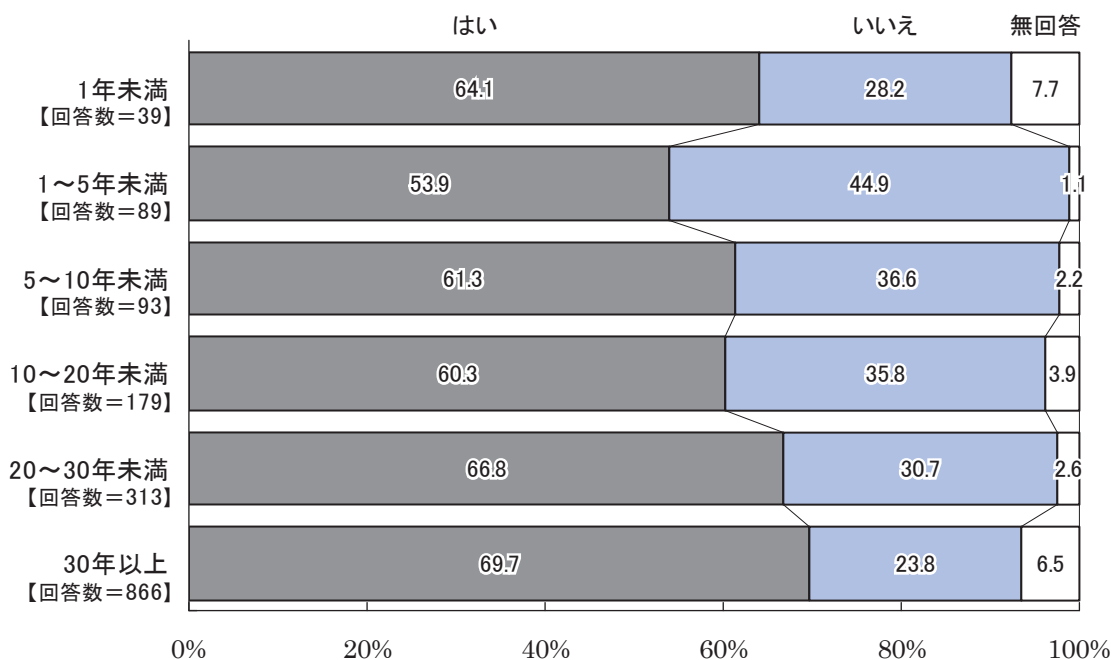
図 6-10 東大阪市での定住意向



東大阪市での今後の定住意向をたずねた。「はい（住み続けたい）」が 65.8%、「いいえ（住み続けたくない）」が 28.4%となっている。

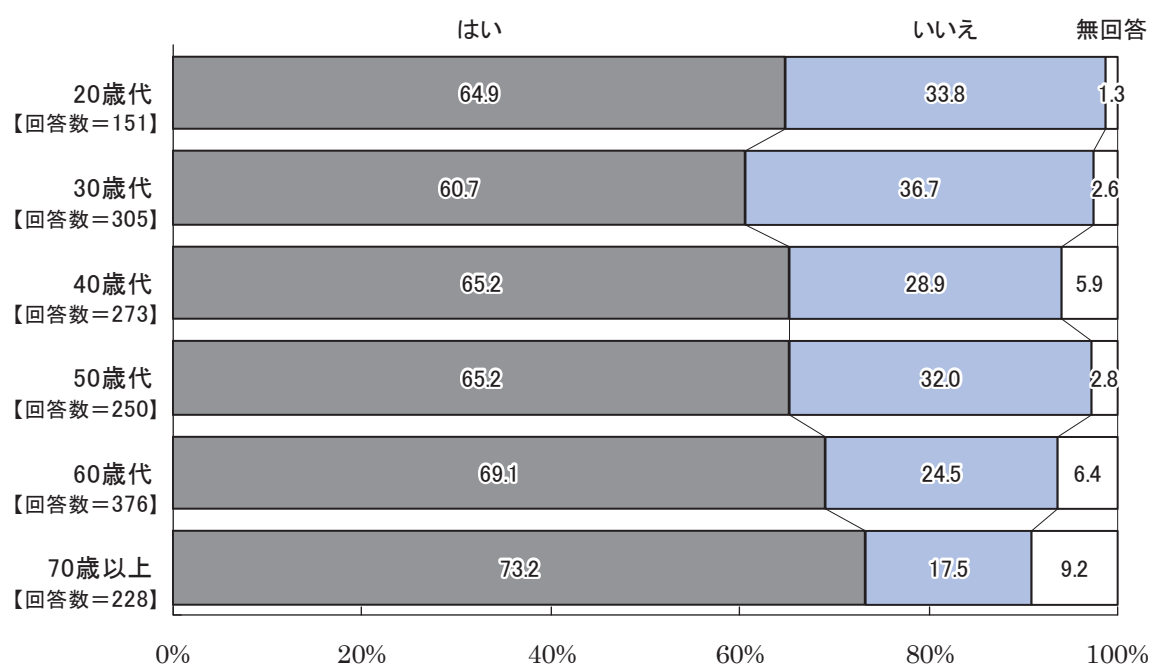
平成 20 年度と比較すると、「はい」が 5.8 ポイント低くなっており、「いいえ」が 3.3 ポイント高くなっている。（図 6-10）

図 6-11 居住年数別 東大阪市での定住意向



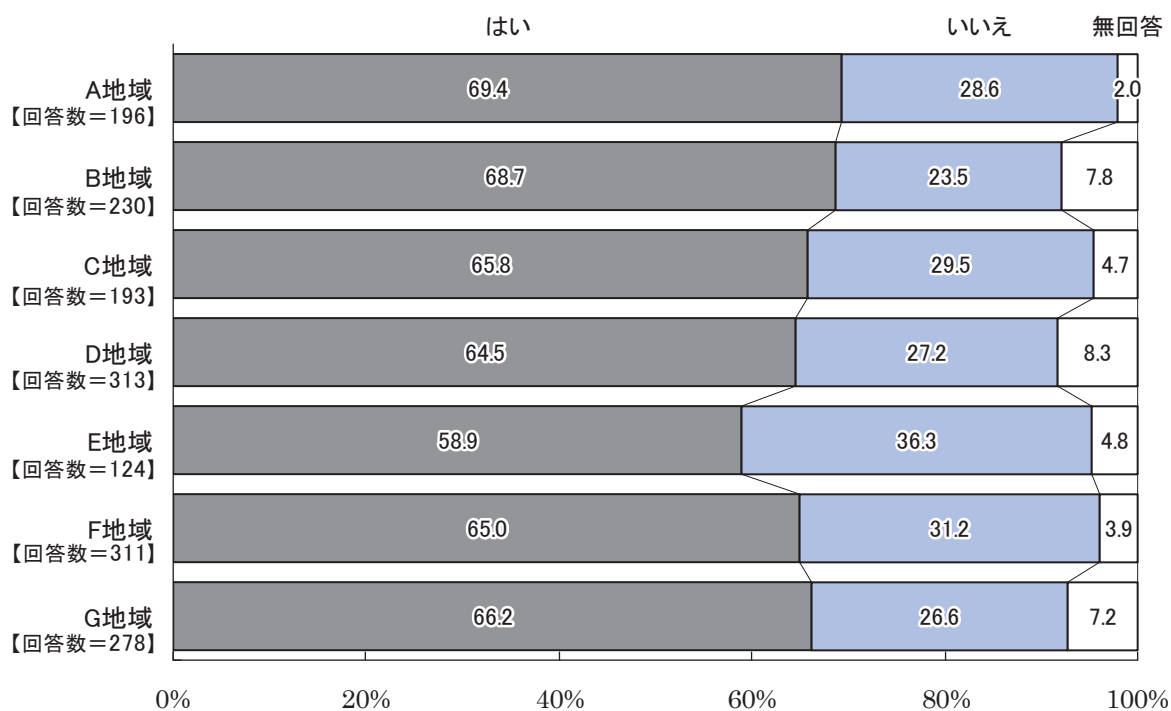
居住年数別にみると、「はい」は 1～5 年未満 (53.9%) を除くいずれも 6 割を超えており、なかでも 30 年以上は 69.7%と高くなっている。（図 6-11）

図 6-12 年代別 東大阪市での定住意向



年代別にみると、いずれも「はい」が6割を超えており、なかでも70歳以上は73.2%と他の年代に比べ高くなっている。(図 6-12)

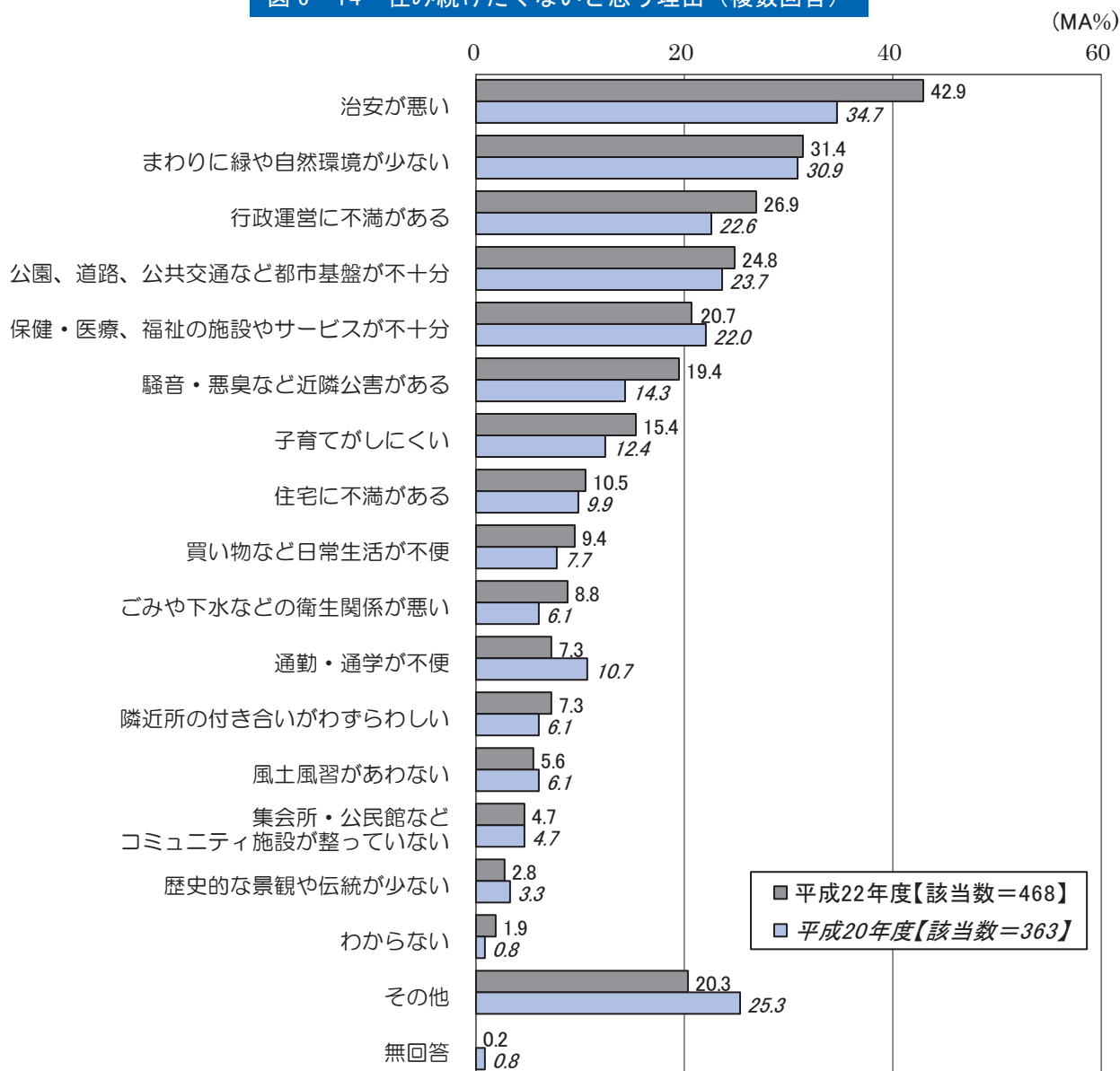
図 6-13 地域別 東大阪市での定住意向



地域別にみると、「はい」はA地域が69.4%と最も高く、E地域(58.9%)を除いた他の地域は6割を超えている。(図 6-13)

問24-1 問24で「2 いいえ」に○印をつけた方におたずねします。住み続けたくないと思われる理由は何ですか？（○は3つまで）

図 6-14 住み続けたくないと思う理由（複数回答）



東大阪市に今後住み続けたくないと思う人にその理由（複数回答）をたずねた。「治安が悪い」が42.9%と最も高く、以下「まわりに緑や自然環境が少ない」（31.4%）、「行政運営に不満がある」（26.9%）、「公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分」（24.8%）などの順となっている。

平成20年度と比較すると、第1位の「治安が悪い」（8.2ポイント増）と第2位の「まわりに緑や自然環境が少ない」（0.5ポイント増）は同じ項目があがっている。また、「保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分」は順位は第5位と変わらないものの1.3ポイント減少している。（図6-14）

図 6-15 年代別 住み続けたくないと思う理由《上位 5 項目》（複数回答）

		問 24-1 住み続けたくないと思う理由 (MA%)				
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
年代別	20 歳代 【該当数=51】	治安が悪い 43.1	まわりに緑や自然環境が少ない 33.3	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分 27.5	通勤・通学が不便／騒音・悪臭など近隣公害がある／行政運営に不満がある 21.6	
	30 歳代 【該当数=112】	治安が悪い 56.3	子育てがしにくい 33.0	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分 30.4	まわりに緑や自然環境が少ない 27.7	行政運営に不満がある 24.1
	40 歳代 【該当数=79】	治安が悪い 36.7	まわりに緑や自然環境が少ない 29.1	行政運営に不満がある 26.6	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分／保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分 25.3	
	50 歳代 【該当数=80】	治安が悪い 38.8	まわりに緑や自然環境が少ない 36.3	行政運営に不満がある／騒音・悪臭など近隣公害がある 26.3		保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分 21.3
	60 歳代 【該当数=92】	治安が悪い 41.3	行政運営に不満がある 39.1	まわりに緑や自然環境が少ない 31.5	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分 27.2	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分 26.1
	70 歳以上 【該当数=40】	治安が悪い／まわりに緑や自然環境が少ない 32.5		公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分／隣近所の付き合いがわずらわしい／行政運営に不満がある 15.0		

年代別に上位 5 項目をみると、いずれも「治安が悪い」が第 1 位となっており、70 歳以上は「まわりに緑や自然環境が少ない」と同率の第 1 位となっている。次いで第 2 位は、20 歳代と 40 歳代・50 歳代は「まわりに緑や自然環境が少ない」であり、30 歳代は「子育てがしにくい」、60 歳代は「行政運営に不満がある」となっている。

また、70 歳以上の同率 3 位に入っている「隣近所の付き合いがわずらわしい」と 30 歳代の第 2 位「子育てがしにくい」は他の年代においては上位 5 項目には入っていない。（図 6-15）

図 6-16 地域別 住み続けたくないと思う理由《上位 5 項目》（複数回答）

		問 24－1　住み続けたくないと思う理由				(MA%)
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
地域別	A 地域 【該当数＝56】	治安が悪い 35.7	行政運営に不満がある 30.4	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分／保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分 23.2	騒音・悪臭など近隣公害がある 21.4	
	B 地域 【該当数＝54】	治安が悪い 44.4	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分 29.6	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分／行政運営に不満がある 25.9	まわりに緑や自然環境が少ない／その他 22.2	
	C 地域 【該当数＝57】	治安が悪い 45.6	まわりに緑や自然環境が少ない 31.6	騒音・悪臭など近隣公害がある 28.1	子育てがしにくい／行政運営に不満がある 21.1	
	D 地域 【該当数＝85】	治安が悪い 45.9	まわりに緑や自然環境が少ない 40.0	行政運営に不満がある 34.1	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分 28.2	騒音・悪臭など近隣公害がある／子育てがしにくい 20.0
	E 地域 【該当数＝45】	治安が悪い 42.2	まわりに緑や自然環境が少ない 37.8	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分 26.7	子育てがしにくい 22.2	行政運営に不満がある 17.8
	F 地域 【該当数＝97】	治安が悪い 43.3	まわりに緑や自然環境が少ない 34.0	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分 23.7	行政運営に不満がある 22.7	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分 20.6
	G 地域 【該当数＝74】	治安が悪い 41.9	まわりに緑や自然環境が少ない／行政運営に不満がある 32.4	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分 29.7	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分／騒音・悪臭など近隣公害がある 24.3	

地域別に上位 5 項目をみると、いずれも「治安が悪い」が第 1 位となっている。

また、「行政運営に不満がある」は A・G 地域で第 2 位となっており、いずれも上位 5 位までに入っている。B 地域の第 2 位は B 地域の第 2 位は「公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分」となっており、C・D・E・F・G 地域の第 2 位は「まわりに緑や自然環境が少ない」（ただし、G 地域は同率）となっている。（図 6-16）

図 6-17 年代別 住み続けたくないと思う理由《上位 5 項目 前回からの変化》

	項目	今年度		20年度
20 歳代 22 年度【該当数＝ 51】 20 年度【該当数＝ 51】	治安が悪い	第 1 位	←	第 1 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 2 位	←	第 2 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分	第 3 位	↖	第 5 位
	通勤・通学が不便		↙	第 3 位
	騒音・悪臭など近隣公害がある	第 4 位	↖	第 8 位
	行政運営に不満がある		↖	第 6 位
30 歳代 22 年度【該当数＝112】 20 年度【該当数＝ 96】	治安が悪い	第 1 位	←	第 1 位
	子育てがしにくい	第 2 位	↖	第 4 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分	第 3 位	↖	第 5 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 4 位	↙	第 2 位
	行政運営に不満がある	第 5 位	↖	第 6 位
40 歳代 22 年度【該当数＝ 79】 20 年度【該当数＝ 72】	治安が悪い	第 1 位	←	第 1 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 2 位	←	第 2 位
	行政運営に不満がある	第 3 位	←	第 3 位
	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分	第 4 位	←	第 4 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分		↖	第 5 位
50 歳代 22 年度【該当数＝ 80】 20 年度【該当数＝ 63】	治安が悪い	第 1 位	↖	第 2 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 2 位	↙	第 1 位
	行政運営に不満がある		↖	第 4 位
	騒音・悪臭など近隣公害がある	第 3 位	↖	第 8 位
	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分	第 5 位	←	第 5 位
60 歳代 22 年度【該当数＝ 92】 20 年度【該当数＝ 63】	治安が悪い	第 1 位	↖	第 2 位
	行政運営に不満がある	第 2 位	↙	第 1 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 3 位	←	第 3 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分	第 4 位	←	第 4 位
	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分	第 5 位	←	第 5 位
70 歳以上 22 年度【該当数＝ 40】 20 年度【該当数＝ 17】	治安が悪い	第 1 位	↖	第 4 位
	まわりに緑や自然環境が少ない		↖	第 3 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分		↙	第 2 位
	隣近所の付き合いがわずらわしい	第 3 位	↖	第 11 位
	行政運営に不満がある		↖	第 4 位

年代別に今年度の上位 5 項目について、平成 20 年度調査からの変化をみると、いずれも「治安が悪い」が第 1 位で横ばいかあるいは順位を上げている。

また、順位を大きく上げているものとしては、20 歳代・50 歳代の「騒音・悪臭など近隣公害がある」と、70 歳以上の「隣近所の付き合いがわずらわしい」があげられる。(図 6-17)

図 6-18 地域別 住み続けたくないと思う理由《上位 5 項目 前回からの変化》

	項目	今年度		20年度
A 地域 22 年度【該当数＝ 56】 20 年度【該当数＝ 44】	治安が悪い	第 1 位	←	第 1 位
	行政運営に不満がある	第 2 位	↖	第 4 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分	第 3 位	↙	第 2 位
	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分	第 3 位	←	第 3 位
	騒音・悪臭など近隣公害がある	第 5 位	↙	第 4 位
B 地域 22 年度【該当数＝ 54】 20 年度【該当数＝ 41】	治安が悪い	第 1 位	↖	第 3 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分	第 2 位	↖	第 4 位
	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分	第 3 位	↙	第 1 位
	行政運営に不満がある	第 3 位	↙	第 2 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 5 位	↖	第 10 位
C 地域 22 年度【該当数＝ 57】 20 年度【該当数＝ 48】	治安が悪い	第 1 位	↖	第 3 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 2 位	←	第 2 位
	騒音・悪臭など近隣公害がある	第 3 位	↖	第 8 位
	行政運営に不満がある	第 4 位	↖	第 7 位
	子育てがしにくい	第 4 位	↖	第 5 位
D 地域 22 年度【該当数＝ 85】 20 年度【該当数＝ 65】	治安が悪い	第 1 位	←	第 1 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 2 位	←	第 2 位
	行政運営に不満がある	第 3 位	←	第 3 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分	第 4 位	↙	第 3 位
	騒音・悪臭など近隣公害がある	第 5 位	↖	第 6 位
	子育てがしにくい	第 5 位	↖	第 7 位
E 地域 22 年度【該当数＝ 45】 20 年度【該当数＝ 26】	治安が悪い	第 1 位	↖	第 3 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 2 位	←	第 2 位
	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分	第 3 位	↙	第 1 位
	子育てがしにくい	第 4 位	↖	第 11 位
	行政運営に不満がある	第 5 位	←	第 5 位
F 地域 22 年度【該当数＝ 97】 20 年度【該当数＝ 67】	治安が悪い	第 1 位	↖	第 2 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 2 位	↙	第 1 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分	第 3 位	↖	第 5 位
	行政運営に不満がある	第 4 位	←	第 4 位
	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分	第 5 位	↙	第 3 位
G 地域 22 年度【該当数＝ 74】 20 年度【該当数＝ 72】	治安が悪い	第 1 位	←	第 1 位
	まわりに緑や自然環境が少ない	第 2 位	←	第 2 位
	行政運営に不満がある	第 2 位	↖	第 3 位
	公園、道路、公共交通など都市基盤が不十分	第 4 位	←	第 4 位
	保健・医療、福祉の施設やサービスが不十分	第 5 位	←	第 5 位
	騒音・悪臭など近隣公害がある	第 5 位	←	第 5 位

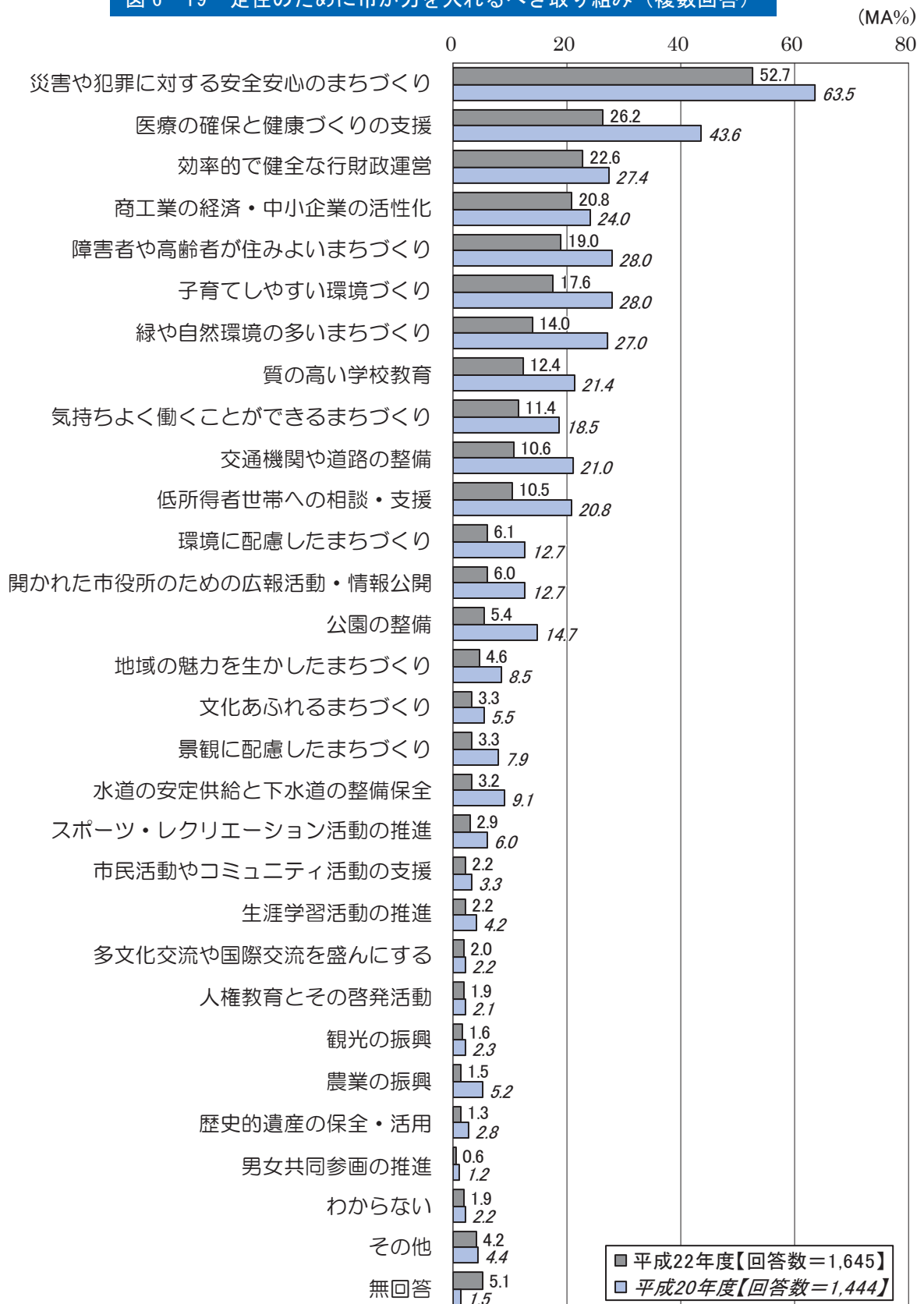
地域別にみると、いずれも「治安が悪い」が第 1 位で横ばいかあるいは順位を上げている。

また、順位を大きく上げているものとしては、B 地域の「まわりに緑や自然環境が少ない」、C 地域の「騒音・悪臭など近隣公害がある」、E 地域の「子育てがしにくい」があげられる。

(図 6-18)

問25 あなたは、東大阪市を誰もが住み続けたいと思うまちにするために、市が力を入れるべき取り組みは何だと思われますか？（〇は3つまで）

図 6-19 定住のために市が力を入れるべき取り組み（複数回答）



誰もが住み続けたいまちにするために市が力を入れるべき取り組み（複数回答）をたずねた。「災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり」が 52.7%と最も高く、以下「医療の確保と健康づくりの支援」（26.2%）、「効率的で健全な行財政運営」（22.6%）、「商工業の経済・中小企業の活性化」（20.8%）などの順となっている。

平成 20 年度と比較すると、回答の選択数は異なる（20 年度 5 つ以内、今年度 3 つ以内）ものの、第 1 位「災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり」と第 2 位「医療の確保と健康づくりの支援」は順位が同じとなっている。（図 6-19）

図 6-20 年代別 定住のために市が力を入れるべき取り組み《上位 5 項目》（複数回答）

		問 25 定住のために市が力を入れるべき取り組み (MA%)				
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
年 代 別	20 歳代 【回答数=151】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 59.6	子育てしやすい環境づくり 26.5	効率的で健全な行財政運営 21.2	商工業の経済・中小企業の活性化 17.9	気持ちよく働けるまちづくり／緑や自然環境の多いまちづくり 17.2
	30 歳代 【回答数=305】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 54.1	子育てしやすい環境づくり 40.3	医療の確保と健康づくりの支援 26.6	商工業の経済・中小企業の活性化 23.6	効率的で健全な行財政運営 20.7
	40 歳代 【回答数=273】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 54.2	医療の確保と健康づくりの支援 27.5	商工業の経済・中小企業の活性化 24.2	質の高い学校教育 20.5	効率的で健全な行財政運営 20.1
	50 歳代 【回答数=250】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 52.4	商工業の経済・中小企業の活性化 26.8	医療の確保と健康づくりの支援 26.4	効率的で健全な行財政運営 24.8	障害者や高齢者が住みよいまちづくり 17.6
	60 歳代 【回答数=376】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 51.9	医療の確保と健康づくりの支援 31.4	効率的で健全な行財政運営 28.2	障害者や高齢者が住みよいまちづくり 24.5	商工業の経済・中小企業の活性化 20.2
	70 歳以上 【回答数=228】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 60.5	障害者や高齢者が住みよいまちづくり 35.5	医療の確保と健康づくりの支援 29.8	効率的で健全な行財政運営 23.2	商工業の経済・中小企業の活性化 14.9

年代別に上位 5 項目をみると、いずれも第 1 位は「災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり」となっている。第 2 位は、20 歳代・30 歳代が「子育てしやすい環境づくり」、40 歳代と 60 歳代が「医療の確保と健康づくりの支援」、50 歳代は「商工業の経済・中小企業の活性化」、70 歳以上は「障害者や高齢者が住みよいまちづくり」となっている。

第 3 位は、20 歳代と 60 歳代が「効率的で健全な行財政運営」、30 歳代と 50 歳代と 70 歳以上は「効率的で健全な行財政運営」、40 歳代は「商工業の経済・中小企業の活性化」となっている。（図 6-20）

図 6-21 地域別 定住のために市が力を入れるべき取り組み《上位 5 項目》（複数回答）

		問 25 定住のために市が力を入れるべき取り組み (MA%)				
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
地 域 別	A 地域 【回答数=196】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 48.0	医療の確保と健康づくりの支援 28.6	障害者や高齢者が住みよいまちづくり 25.5	効率的で健全な行財政運営 25.0	商工業の経済・中小企業の活性化 23.5
	B 地域 【回答数=230】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 53.0	医療の確保と健康づくりの支援 27.0	効率的で健全な行財政運営 24.8	商工業の経済・中小企業の活性化 20.0	障害者や高齢者が住みよいまちづくり 17.4
	C 地域 【回答数=193】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 56.0	医療の確保と健康づくりの支援 29.0	効率的で健全な行財政運営 24.9	障害者や高齢者が住みよいまちづくり 21.2	子育てしやすい環境づくり 19.2
	D 地域 【回答数=313】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 52.7	医療の確保と健康づくりの支援 26.5	効率的で健全な行財政運営 20.1	障害者や高齢者が住みよいまちづくり 19.5	商工業の経済・中小企業の活性化 17.3
	E 地域 【回答数=124】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 50.0	商工業の経済・中小企業の活性化 25.8	医療の確保と健康づくりの支援 23.4	子育てしやすい環境づくり 21.0	障害者や高齢者が住みよいまちづくり 16.9
	F 地域 【回答数=311】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 60.5	医療の確保と健康づくりの支援 25.7	効率的で健全な行財政運営 25.1	商工業の経済・中小企業の活性化 22.8	子育てしやすい環境づくり 19.3
	G 地域 【回答数=278】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり 46.0	医療の確保と健康づくりの支援 23.4	商工業の経済・中小企業の活性化 22.3	効率的で健全な行財政運営 20.5	障害者や高齢者が住みよいまちづくり 18.0

地域別に上位 5 項目をみると、第 1 位はいずれも「災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり」となっている。第 2 位は E 地域が「商工業の経済・中小企業の活性化」であり、その他の地域は「医療の確保と健康づくりの支援」となっている。

第 3 位は、B・C・D・F 地域が「効率的で健全な行財政運営」であり、A 地域は「障害者や高齢者が住みやすいまちづくり」、E 地域が「医療の確保と健康づくりの支援」、G 地域が「商工業の経済・中小企業の活性化」となっている。（図 6-21）

図 6-22 年代別 定住のために市が力を入れるべき取り組み《上位 5 項目 前回からの変化》

	項目	今年度		20年度
20 歳代 22 年度【回答数=151】 20 年度【回答数=147】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	子育てしやすい環境づくり	第 2 位	↖	第 3 位
	効率的で健全な行財政運営	第 3 位	↖	第 7 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 4 位	↖	第 6 位
	気持ちよく働けるまちづくり	第 5 位	↖	第 8 位
	緑や自然環境の多いまちづくり		↖	第 4 位
30 歳代 22 年度【回答数=305】 20 年度【回答数=265】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	子育てしやすい環境づくり	第 2 位	←	第 2 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 3 位	←	第 3 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 4 位	↖	第 7 位
	効率的で健全な行財政運営		↖	第 8 位
40 歳代 22 年度【回答数=273】 20 年度【回答数=250】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 2 位	←	第 2 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 3 位	↖	第 8 位
	質の高い学校教育	第 4 位	↖	第 5 位
	効率的で健全な行財政運営	第 5 位	←	第 5 位
50 歳代 22 年度【回答数=250】 20 年度【回答数=263】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 2 位	↖	第 6 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 3 位	↘	第 2 位
	効率的で健全な行財政運営	第 4 位	←	第 4 位
	障害者や高齢者が住みよいまちづくり	第 5 位	↘	第 3 位
60 歳代 22 年度【回答数=376】 20 年度【回答数=333】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 2 位	←	第 2 位
	効率的で健全な行財政運営	第 3 位	↖	第 4 位
	障害者や高齢者が住みよいまちづくり	第 4 位	↘	第 3 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 5 位	↖	第 6 位
70 歳以上 22 年度【回答数=228】 20 年度【回答数=166】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	障害者や高齢者が住みよいまちづくり	第 2 位	↖	第 3 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 3 位	↘	第 2 位
	効率的で健全な行財政運営	第 4 位	←	第 4 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 5 位	↖	第 7 位

年代別に今年度の上位 5 項目について、平成 20 年度調査からの変化をみると、いずれも「災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり」が平成 20 年度と同じく第 1 位となっている。

また、順位を大きく上げているものとしては、20 歳代・30 歳代の「効率的で健全な行財政運営」、20 歳代の「気持ちよく働けるまちづくり」、30 歳代から 50 歳代の「商工業の経済・中小企業の活性化」があげられる。（図 6-22）

図 6-23 地域別 定住のために市が力を入れるべき取り組み《上位 5 項目 前回からの変化》

	項目	今年度		20年度
A 地域 22 年度【回答数=196】 20 年度【回答数=158】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 2 位	←	第 2 位
	障害者や高齢者が住みよいまちづくり	第 3 位	↖	第 6 位
	効率的で健全な行財政運営	第 4 位	↖	第 5 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 5 位	↖	第 8 位
B 地域 22 年度【回答数=230】 20 年度【回答数=209】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 2 位	←	第 2 位
	効率的で健全な行財政運営	第 3 位	↖	第 4 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 4 位	↖	第 7 位
	障害者や高齢者が住みよいまちづくり	第 5 位	←	第 5 位
C 地域 22 年度【回答数=193】 20 年度【回答数=173】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 2 位	←	第 2 位
	効率的で健全な行財政運営	第 3 位	↖	第 6 位
	障害者や高齢者が住みよいまちづくり	第 4 位	↖	第 7 位
	子育てしやすい環境づくり	第 5 位	↙	第 4 位
D 地域 22 年度【回答数=313】 20 年度【回答数=271】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 2 位	←	第 2 位
	効率的で健全な行財政運営	第 3 位	↖	第 5 位
	障害者や高齢者が住みよいまちづくり	第 4 位	↙	第 3 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 5 位	↖	第 8 位
E 地域 22 年度【回答数=124】 20 年度【回答数= 95】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 2 位	↖	第 11 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 3 位	↙	第 2 位
	子育てしやすい環境づくり	第 4 位	↙	第 3 位
	障害者や高齢者が住みよいまちづくり	第 5 位	↙	第 4 位
F 地域 22 年度【回答数=311】 20 年度【回答数=287】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 2 位	←	第 2 位
	効率的で健全な行財政運営	第 3 位	←	第 3 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 4 位	↖	第 5 位
	子育てしやすい環境づくり	第 5 位	↖	第 7 位
G 地域 22 年度【回答数=278】 20 年度【回答数=251】	災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり	第 1 位	←	第 1 位
	医療の確保と健康づくりの支援	第 2 位	←	第 2 位
	商工業の経済・中小企業の活性化	第 3 位	↖	第 5 位
	効率的で健全な行財政運営	第 4 位	↖	第 6 位
	障害者や高齢者が住みよいまちづくり	第 5 位	↙	第 4 位

地域別に変化をみると、いずれも「災害や犯罪に対する安全安心のまちづくり」は第 1 位と変わっていない。

また、順位を大きく上げているものとしては、A・C 地域の「障害者や高齢者が住みよいまちづくり」、B・D・E 地域の「商工業の経済・中小企業の活性化」、C 地域の「効率的で健全な行財政運営」があげられる。(図 6-23)